

# 調査及び立法考査局

国会の立法活動を補佐するため、国会議員その他国会関係者に対して、法案等の分析・評価、国政審議に係る政治、経済、社会等各分野の調査及び情報提供を行います。  
また、国会情報・立法情報への国民のアクセスを容易にし、国会と国民とをつなぐ役割も果たします。

## 依頼調査



国会議員等から調査の依頼を受けて、所蔵資料やデータベースを使って調査。



調査について打合せ。報告書にまとめたり、国会議員に直接説明することも。

## 国政課題に関する調査研究

国会で論点になりそうな国政課題に関する調査研究を行い、その結果をレポートに取りまとめ、刊行物として国会議員等に提供。それぞれの問題について、法制度・政策の変遷、諸外国の法制度との比較、政府の見解、有識者による賛否の意見などを分かりやすくまとめる。国会審議に資するよう、著者自身の説を提示するのではなく、出典を示しながら多様な見解を客観的に紹介。



## 国会関連情報の提供



「国会会議録検索システム」では、第1回国会（昭和22年）から現在までの国会会議録を画像及びテキストデータで提供し、発言者名による検索や発言の全文検索が可能。また「日本法令索引」では、公文式施行（明治19年）以降の法令の改廃経過や法案の審議経過の情報を提供し、他サイトへのリンクにより法令・法案の本文も参照が可能。これらのデータベースを作成、維持管理し、国会と国民とをつなぐ。

## 専門的知見をいかし 国会を補佐する

植田 大祐 経済産業課主査



国会の一組織である国立国会図書館は、「立法府のブレン」として国会議員の活動を補佐するという、他の図書館にはない業務を行っています。私が所属する経済産業課は、そうした国会議員に対する立法調査サービスを担う部署の一つであり、産業政策、貿易、ODA、エネルギー政策等の分野を所管しています。

普段の業務は、国政課題等に関する資料提供や報告書作成、面談での説明などが中心で、これらは主に国会議員の依頼に応じて行っています。「今すぐ議員会館で説明してほしい」といった即座の対応を求められる場合もあります。また、国会で論点になりそうなテーマに関するレポートの執筆も重要な業務です。レポートのテーマは、中長期のものを含め国政課題の動向等をにらみながら上司とも相談して決めています。

これらの業務は国立国会図書館の膨大な所蔵資料等を活用して行いますが、国会議員のニーズに合った情報を選別し、分かりやすく整理・分析するには、担当分野の専門知識が不可欠です。



担当する分野の動向を新聞でチェック

こうした専門知識のかん養のため、有識者を招いての研修や勉強会等の機会が用意されているほか、留学の制度もあります。私もロンドンの大学院に留学しましたが、教官や他の学生との議論の経験など大学院で得られた知見は、現在の業務に大変役立っています。

国会議員に対する立法調査サービスは、国政審議に直結するため責任は重いですが、自分が作成した資料が国会で使用されたり、執筆したレポートについて国会議員から問合せがあったりと、やりがいのある仕事です。熱意のある皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

## 学生時代の専攻

開発経済学

## Career

- H18.4 調査及び立法考査局国会レファレンス課
- H19.4 同 経済産業課
- H24.8 ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス 留学
- H25.9 調査及び立法考査局経済産業課（副主査）
- H26.4 総務部会計課（副主査、H27.4 予算係長）
- H29.4 調査及び立法考査局経済産業課（副主査、R1.7 主査）